

# 岡本キャンパス1年生 インターンシップ その2



寺の住職取材する小出さん(中)と古田さん(左)＝高山市天性寺町で

飛騨高山高校岡本キャンパス(高山市下岡本町)の生徒らが9、10の両日、飛騨地域の事業所などで職業体験実習をした。1年生約180人が、市役所や宿泊施設、福祉施設など83カ所でそれぞれの業務に触れ、働く人たちの心構えを学んだ。

中日新聞高山支局では、普通科の古田秋歩さん、ビジネス科の小出武瑠さんが参加。両日とも本紙記者とともに取材、撮影をして原

## 本紙高山支局でも2人実習

飛騨高山高校岡本キャンパス(高山市下岡本町)の生徒らが9、10の両日、飛騨地域の事業所などで職業体験実習をした。1年生約180人が、市役所や宿泊施設、福祉施設など83カ所でそれぞれの業務に触れ、働く人たちの心構えを学んだ。

## 飛騨高山高生 83カ所で職業体験

と、新聞によっても見出しの言葉や記事の扱いが違うことも分かった。

写真で多くの情報を伝える技術が必要

小出武瑠さん 写真を撮らせてもらったが、1枚で多くの情報を伝えるには人の表情だけでなく、場所なども分かるようにする技術が必要だと分かった。各紙を読んで自分のトップニュースを選んでみると古田さんと違って、個性が出るものだなと思った。

書き手視点により記事の内容に違い

古田秋歩さん 取材では緊張してうまく質問を考えられなかったが、分からないことは聞くことが大切だと感じた。同じ取材をしても書く人の視点によって記事の内容が違ってくる



緊張してうまく質問を考えられなかったが、分からないことは聞くことが大切だと感じた。同じ取材をしても書く人の視点によって記事の内容が違ってくる



写真を撮らせてもらったが、1枚で多くの情報を伝えるには人の表情だけでなく、場所なども分かるようにする技術が必要だと分かった。各紙を読んで自分のトップニュースを選んでみると古田さんと違って、個性が出るものだなと思った。